

経済的理由で受診できない！

患者さんの実態が明らかに

保団連アンケートより

2. 1 高齢者中央集会
全国保険医団体連合会





- 期 間：2022年10月22日～2023年1月23日
- 回答数：6397人（中間集計）
- 医療機関の待合室や保険医協会・医会のイベントなどで配布

アンケートハガキ付きリーフレットで 待合室キャンペーン

患者さんの声を聞かせてください!!

プロジェクト始動

アンケートの内容

今後の医療・介護の負担増の解説

いつでもどこでも誰でも安心して医療を受けられるように…

さらに、介護も負担増!が狙われている!

待合室でぜひ ご活用を!

ご注文は、最寄りの 保険医協会・医会、保団連まで

アンケート付リーフレット調査の
中間結果から見える
患者さんの実態

アンケート項目

Q.1 年齢をお書きください。(歳)

Q.1-2 定期的に受診している科に○をつけてください。
(何個でも可)

ア.内科 イ.外科 ウ.整形外科 エ.皮膚科 オ.耳鼻科 カ.眼科
キ.歯科 ク.その他()

Q.1-3 現在の窓口負担の割合に○をつけてください。

ア.0割 イ.1割 ウ.2割 エ.3割
オ.その他()

〈過去半年以内についてお聞きします〉

Q.2-1 経済的理由で受診を控えたことがありますか？

ア.ある イ.ない

Q.2-2 受診や暮らしの様子について当てはまるものに○
をつけてください。(何個でも可)

ア.今まで通り受診している
イ.受診回数を減らした
ウ.食費などの生活費を削って受診している
エ.検査・薬、治療を減らすよう頼んだ
オ.受診できなくなった
カ.家族に医療費負担などを支援してもらっている
キ.これまでのたくわえ(貯金など)を切り崩している
ク.その他()

Q.3 医療費の負担や受診を控えた経験、社会保障について
日頃感じていることがあれば、お書きください。(自由記述)

アンケートの目的

長引くコロナ禍、物価高騰、昨年10月から実施された「75歳以上の医療費の窓口負担」2倍化などの中、医療機関での受診控えや患者さんの生活実態が非常に苦しくなっていると医師・歯科医師から多くの声が寄せられている。

このような中、患者さんの受診状況や生活実態をつかむために医療機関の待合室やイベントなどでアンケートを実施した。



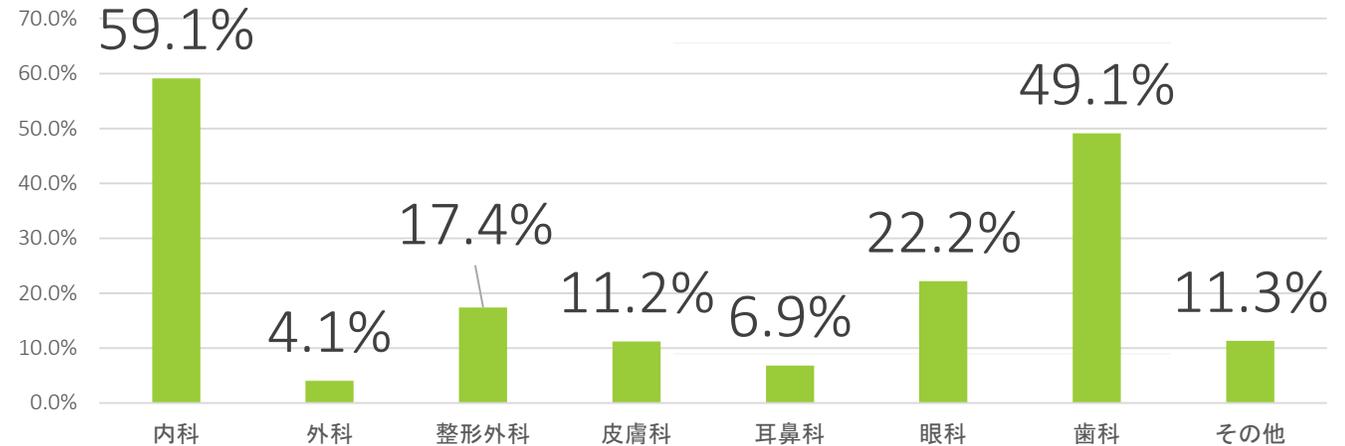
安心して暮らしたい!
医療・介護の未来はどうなる!?



基本情報

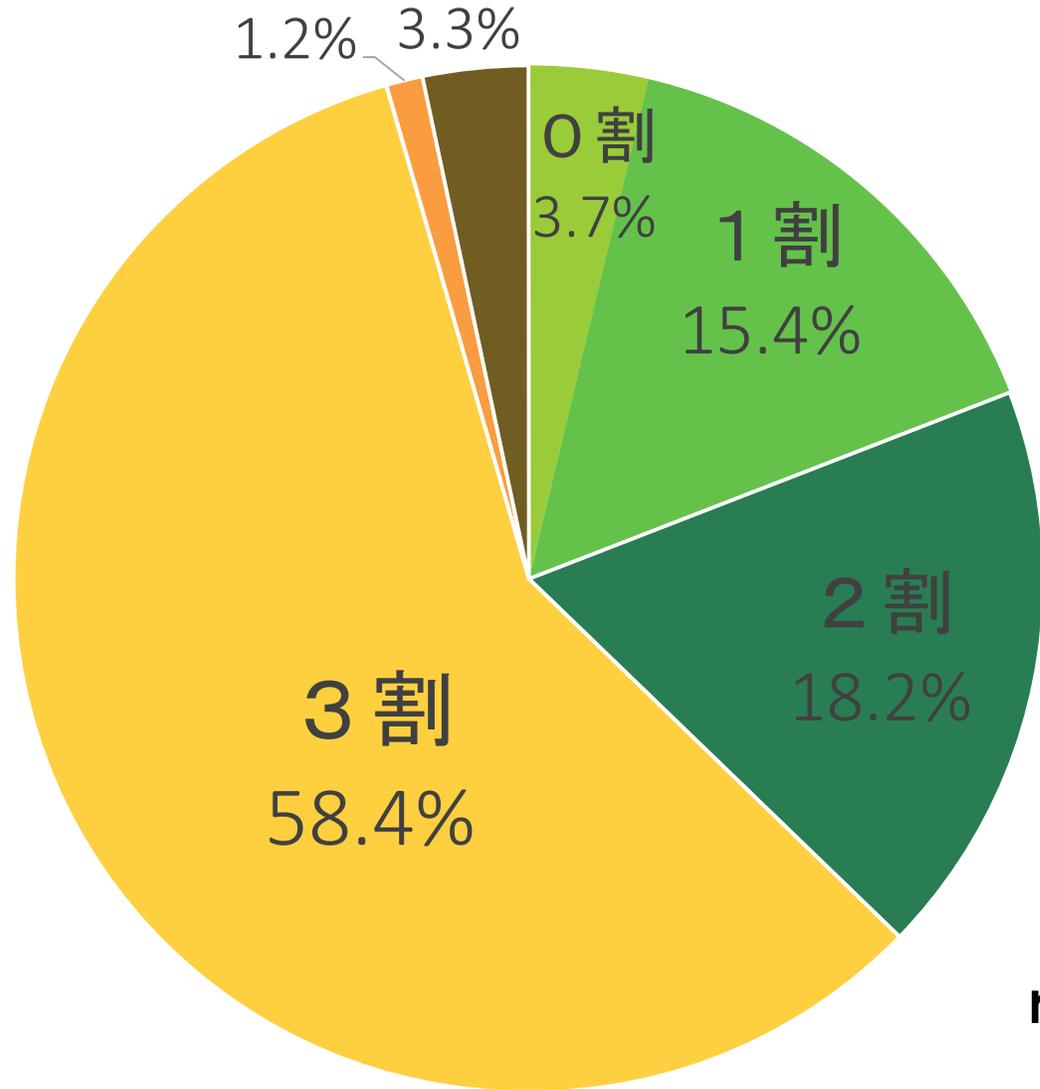
年齢	人数	割合
10歳未満	73	1.1%
10代	137	2.1%
20代	236	3.7%
30代	429	6.7%
40代	716	11.2%
50代	992	15.5%
60代	1156	18.1%
70～74歳	823	12.9%
75歳以上	1506	23.5%
N/A	329	5.1%
合計	6397	100.0%

定期的に受診している科 (複数回答可)





現在の窓口負担割合



n = 6397

■ 0割 ■ 1割 ■ 2割 ■ 3割 ■ その他 ■ 回答なし

「0割」は3.7% (239人)

「1割」は15.4% (985人)

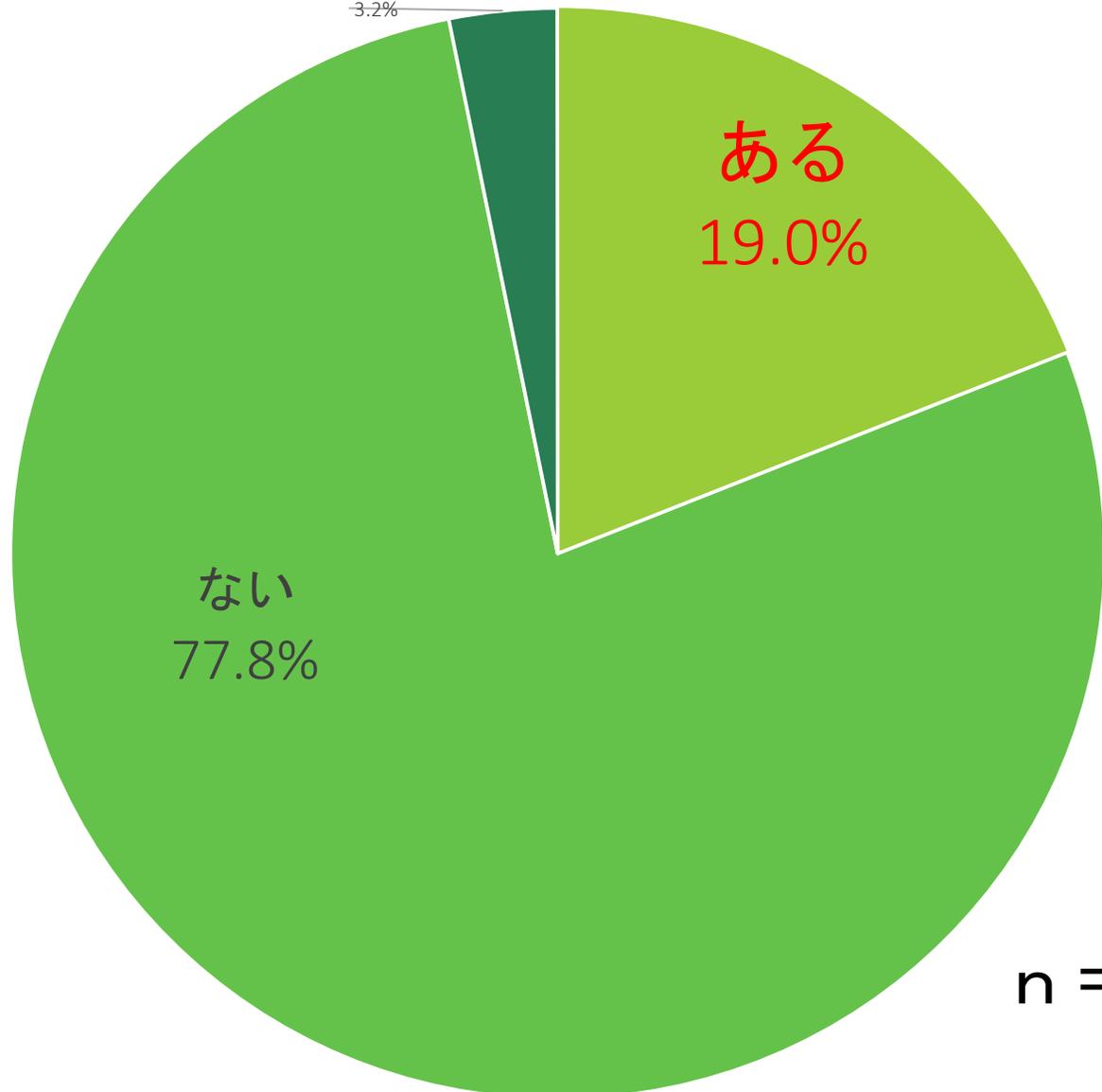
「2割」は18.2% (1164人)

「3割」は58.4% (3737人)



経済的理由での受診控え

回答なし
3.2%



n = 6397

■ ある ■ ない ■ 回答なし

過去半年以内の状況①

19% (1215人) が

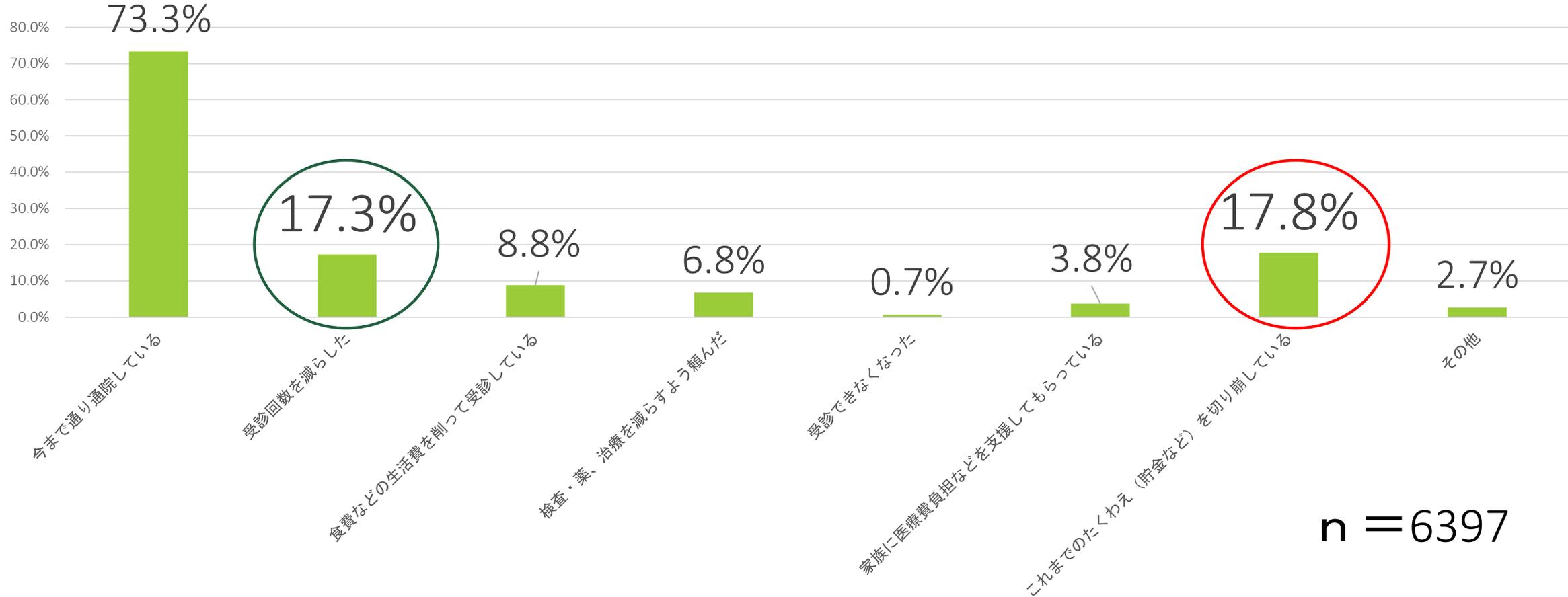
過去半年以内に経済的理由で

受診を控えている

過去半年以内の状況②



受診や暮らしの様子（複数回答可）



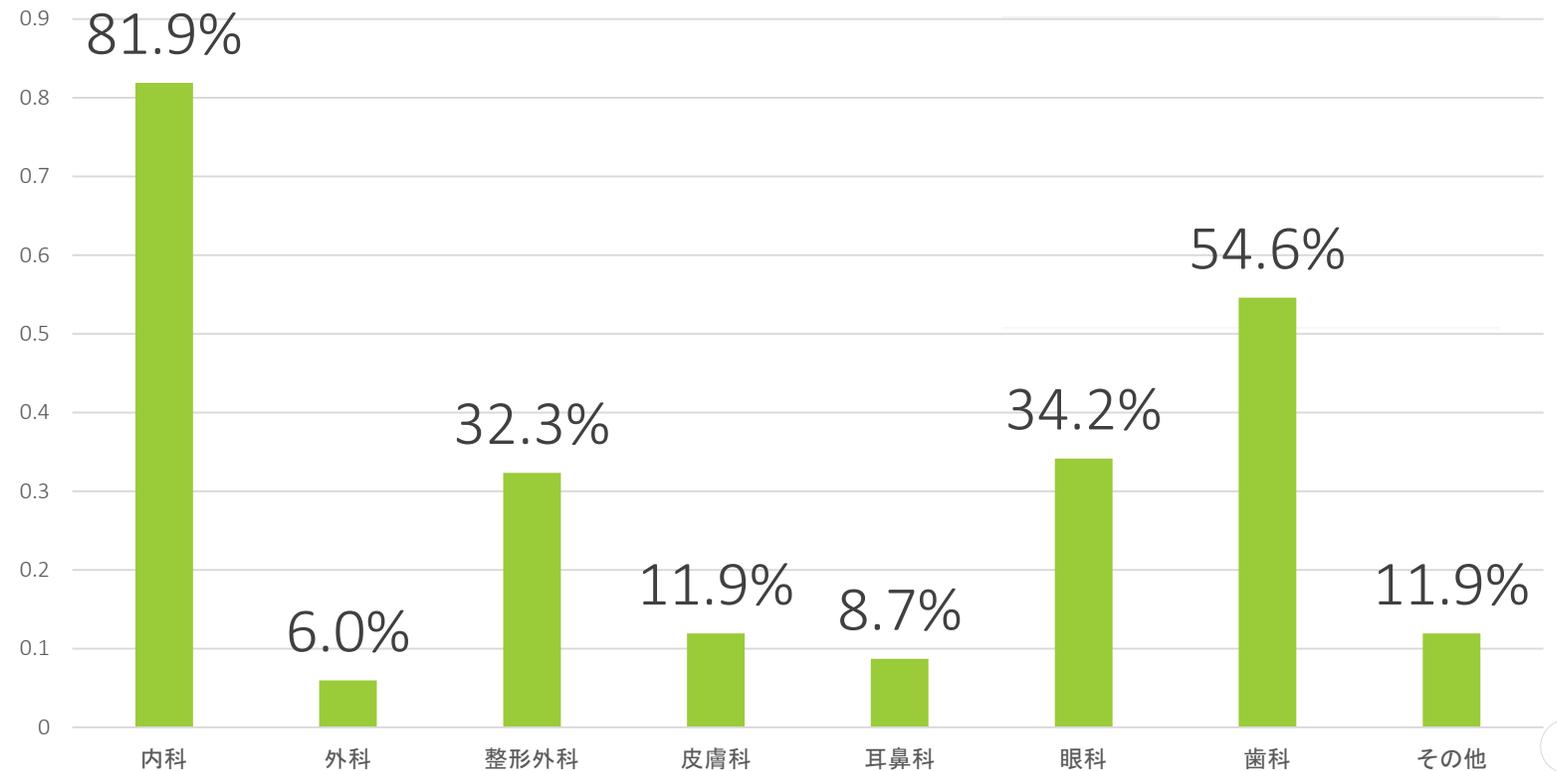
今まで通り受診している73.3%（4,691人）だが、

貯金などを切り崩した17.8%（1138人）、受診回数を減らした17.3%（1105人）など
全世代で2割近くに受診控えや生活の苦しさなどが見られる。受診抑制「なし」と回答した人でも
貯金の切り崩し（15%）、受診回数減（7%）などと回答している

75歳以上で2割負担（10月から2割になった）人

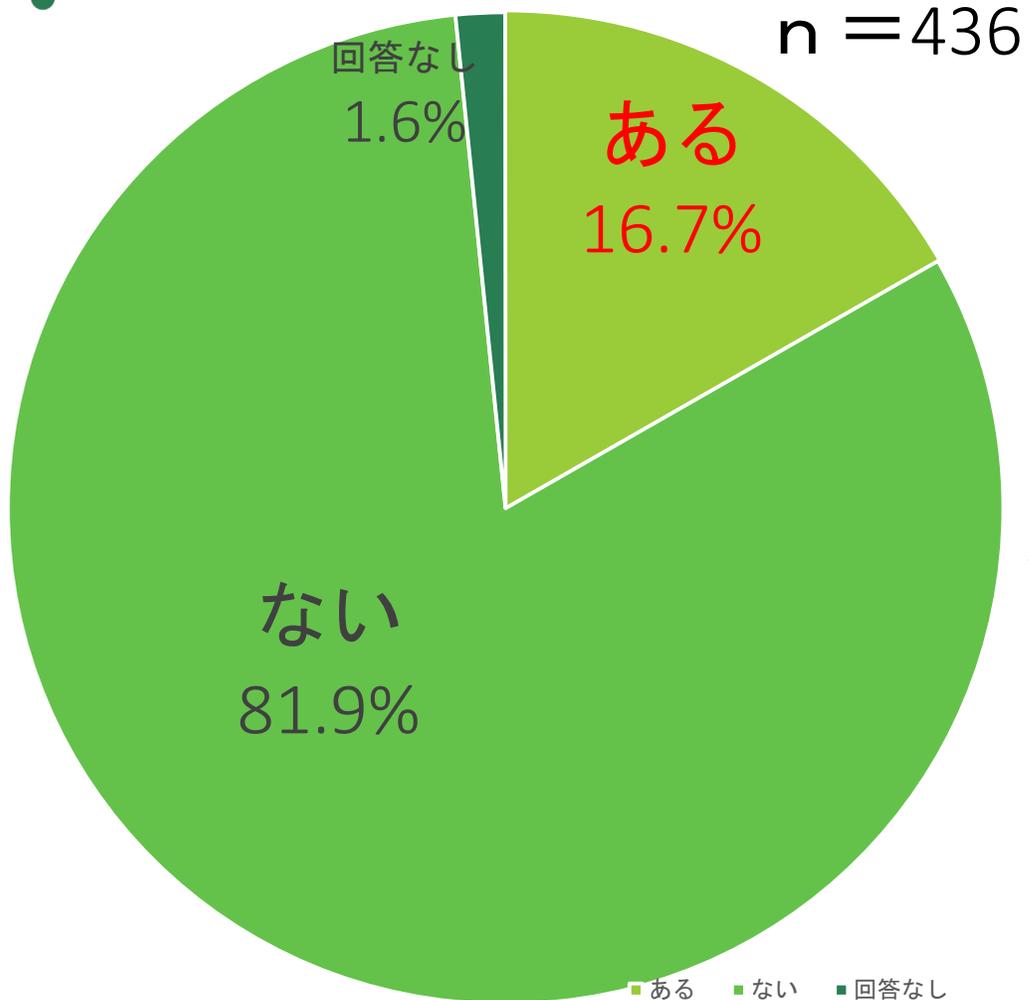
人数（6397人中）
436人

定期的に受診している科



75歳以上（2割負担）過去半年以内の状況①

75歳以上で2割負担の人の
経済的理由での受診控え



16.7%（73人）が

過去半年以内に経済的理由で

受診を控えている

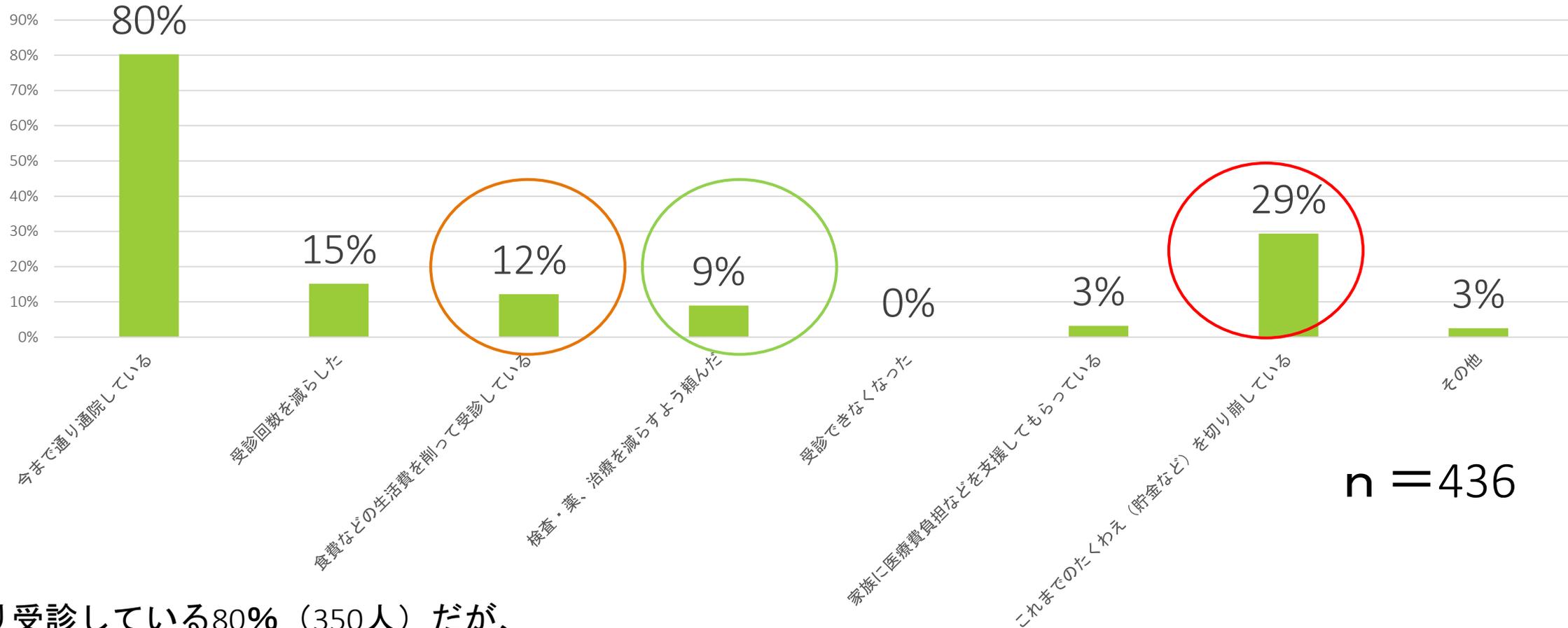
※アンケート多くが医療機関の待合室で実施しているため、受診できていない人の状況は反映できていない。

75歳以上（1割）の場合では、

12.7%が受診控え
→ 2割になり、受診を控えている！



受診・暮らしの様子



今まで通り受診している80%（350人）だが、

貯金など切り崩した29%（128人）全世代17.8%より高い。生活費を削って受診12%（53人）で全世代8.8%より高い。

検査・薬など減らした9%（39人）で全世代6.8%より高い

→高齢者は受診せざる得ない病気を抱えており、貯金や生活を切り詰めて受診している、
2割化後、1～2年後に一層貯蓄の切り崩しなどの影響が全世代に及ぶ可能性が大きい！

リーフアンケートに寄せられた声①全世代

①37歳（3割）

- ・1ヶ月に何回か通ったり複数の医療にかかるとう医療費が1万は超えるので回数を減らすか我慢できるなら受診を控えている

②46歳（3割）

- ・必要な薬なので受診はしているが、物価も上がり、給料は変わらずで生活がキツイ。このままだと、受診を控える日も来ってしまうのではないかと考えてしまう。高齢者でも2割負担の人が出てきているので今後は両親の医療費も心配している。

③41歳（3割）

- ・乳がん検診など、気になる検診を毎年受けたいが自費になるので、何個も検査をするのは高額になるのでやはり控えてしまおうと考える時がある。取り返しのつかない事にならないかも心配もあり、経済面との葛藤がある。

リーフアンケートに寄せられた声①全世代

④48歳（3割）

・父が75歳になり1割負担になったのですが、2割負担にとの話。現在、76歳になったばかりで、何の為に長年お勤めをし、高い保険料を納めていたのか疑問を感じます。高齢者に負担をかけ過ぎでは？将来が不安です。

⑤47歳（3割）

・歯科の定期検診を毎月1度予約して行ってきましたが、生活費がきびしく間隔をあけて通っています。

⑥58歳（3割）

・仕事をやめて収入が減ってから、生活の不安が大きい。貯金がないと生きていけない国の政策はひどいと思う。子育ての時には、学費でお金が飛ぶように出ていき、仕事も医療機関の事務で25年間、働き詰めでクタクタになり、子育てが一段落したと思ったら、親の介護が始まり、仕事と両方の負担で疲れきって仕事をやめました。そしたら、今度は生活の不安が。もっと安心して暮らせる世の中にしてほしい。学費で貯金もできない教育制度も変えてほしい。

リーフアンケートに寄せられた声②75歳以上で2割負担

①86歳（2割）

・がん（右ほほ部細胞癌）の手術をした。7万円ほどかかった。年なので保険はずめの涙。1割の時よかったが。家内も肝臓がんで入院せんといかんらしい。受診を控える状態でもないのここに来てやっぱり1割UPはえらい。

②78歳（2割）

・1割が2割になったという事は2倍になった事で、支払時にびっくりしてしまった。今は介護認定をしなくてもいいが、介護制度が悪くなるので心配、不安です。

③75歳（2割）

・保険料が年々増加して、物価高もあり、他で切り詰めるしかない。体の為に受診はしないわけにはいかない。

④80歳（2割）

・負担が2割になったので歯科はやめました。眼科は目薬を1日3回を2回にして診察を伸ばしています。

リーフアンケートに寄せられた声②75歳以上で2割負担

⑤82歳（2割）

・2割負担は大きい。夫は定期的に通う病気、薬など（料金）倍になり年金だけでは心配です。私の方は少し受診を減らしています。

⑥77歳（2割）

・後期高齢で1割から2割負担になり、夫婦で医療費を生活費より支出しなければならなくなり、とても大変です。

⑦75歳（2割）

・1割負担で精神的に気持ちが悪くなったところ、2022.10.1から再度2割負担になってしまい納得がいかない。

※年金生活で苦しい中、病気を抱えて不安な高齢者の切実な声がアンケートには溢れています…

いつでも、どこでも、だれでも安心して 医療が受けられるように…

アンケートの結果から…

高齢者の生活は、決して楽ではありません。

受診控えや生活を切り詰めながら受診する高齢者の姿が浮き彫りになりなりました。

→高齢者が受診を控えると重症化し、命にかかわります

今後、「75歳以上の医療費窓口負担2割」は今後、省令で対象者が拡大できます

医療機関からの声…

- ・患者さんに、治療費用を抑えたいと言われることがあります。
多くの治療が必要な人に限って、そのようになっている気がします。悪循環です。
→75歳以上の医療費の窓口負担を1割に戻そう！

全世代の生活も苦しく、安心して医療に受診出来ている状況ではありません！

→今年は、統一地方選挙の年！私たちの声を社会保障の充実に反映させるチャンス☆彡

社会保障に私たちの声を反映させよう！